

令和4年度 第1回瑞浪市教育委員会点検評価委員会（要点筆記）

日時：令和4年5月19日（木）13：30～

場所：西分庁舎1階 会議室

出席者

委員 浅沼克郎、安藤徳善、三戸憲和、水野昌代、古田勉

教育長

事務局 事務局長、事務局次長、教育総務課長、総務係（2名）

説明者 学校教育課長補佐、教育支援係長、教育推進係長、学校給食センター所長、
社会教育課長、社会教育係長、生涯学習推進係長、スポーツ文化課長

司会：教育総務課長

◇ 教育長あいさつ

今年度の点検評価委員会は、令和3年度に教育委員会が執行した教育行政について評価をいただきます。「第6次瑞浪市総合計画」と「瑞浪市教育振興基本計画みずなみ教育プラン」に基づき執行されました様々な事業についてみていただきます。両計画は平成26年度からはじまり、10年間の計画で、今年度は9年目となり、残り2年間となります。

令和6年度からは、新たに次期の計画がスタートします。令和4年度と5年度の2年間で次期計画の策定作業を行います。そういった中、今年度の点検評価の結果は、次期計画策定の大きな参考意見とさせていただきます。

先週、全国都市教育長会に出席しました。色々な都市で行われている教育行政の事例発表が行われました。その中で、夢のある教育行政を進めていく必要があるということが一番強く思いました。現実、予算の問題もあり、やりたいことが全部できるわけではありませんが、根底には子供達の将来、瑞浪市の将来を考えた「夢」を大事にしたいと思いながら帰ってきました。次期策定に向け、令和3年度の様々な事業について、忌憚ない評価をいただきたいと思えます。

厳しい評価をいただきまして、それを受け止めて次期に活かしていくことが子供達の将来に繋がっていくと思えますので、是非よろしく願います。

1 委嘱状交付

任期：令和4年4月28日から当該年度の点検評価に関する審議が終了した日まで
委員全員に委嘱状交付。

2 自己紹介 委員名簿

3 委員長、委員長職務代理者の選出

委員長：水野昌代氏 委員長職務代理者：古田 勉氏

4 制度の概要説明 事務局

5 議 事

令和4年度(3年度事業)みずなみ教育プラン後期計画の施策の評価について

【基本目標1】 学校教育課長補佐、教育推進係長、社会教育係長、学校給食センター所長説明

施策1	幼保一体化による就学前教育の充実
委員	研修会に参加できない職員に対してどのような対応をしているのか。
係長	出席者による伝達、資料配布になる。
委員	家庭教育学級のリーダー研修会について、研修会は各園に連絡をして保護者の参加を募っているのか。
係長	園の職員及び保護者に連絡をしている。
委員	研修会の参加率100%というのは、園長会、主任会等によるものか。
係長	そうです。園長が集まる会に出向いて話をしたので、全ての園の関係者が参加したということです。
委員	分母は職員数なのか。
係長	園数になる。
委員	接続カリキュラムというのは作成中なのか。
係長	作成済みである。
委員	作成は大変だったと思うがいつ作ったのか。
係長	長期休業中などに作成した。
委員	接続カリキュラムが機能すると良い。
委員	接続カリキュラムとはどのようなものか。
係長	入学時に学校生活に慣れるために、学校での日常生活すべてについて、体験を通しながら入学当初に学ぶものです。幼児園の先生方にも理解していただくことも大切だと考えている。
委員	園でどのような指導を受けてきているかで、1年生の最初の半年ですごく差がつくと思う。
評価	委員会評価 A
施策2	確かな学力の育成
委員	朝読書をやっている学校数は何校か。
補佐	今すぐに具体的な数字を提示できないが、コロナで健康チェックを行

	うため朝活動をなくしている学校もある。とはいえ、読書は大切なので、各学校において啓発は行っている。
委員	コロナが収まらないとなかなか難しいが、読書活動を進めて欲しい。
委員	情報モラルとして、スマホの利用時間について、市内で統一の指導がされているのか。
補佐	PTA 本部役員会が中心に家庭との連携の取り組みを進めている。その取り組み方法、開始については各学校に任せている。
委員	親が子供に言いやすいように基準を決めて指導して欲しい。
委員	タブレットの具体的な活用方法が知りたい。
補佐	授業内でいうと、例えば複数の資料、意見が手元で見られるように活用している。
委員	授業参観をタブレットで参加したが、学校に行かなくても良く、新しい方法で面白いと思った。このような活用をどんどんやってもらいたい。
委員	「個別最適な学び」「協働的な学び」というのはどのようなものか。
補佐	文部科学省が出している方針の1つになる。今までの昔ながらの学習方法に加えて、タブレットが導入されたことで1人1人に適した学びになっている。
委員	弱点について個人で学び直しができるコンテンツがあると良いと思った。
補佐	ウェブラーニングという県がつくっているものでできる。瑞浪市では6月からAI型ドリル教材の導入を予定しており、つまずいた部分について学び直しができるようになっている。
委員	昔と比べて、特に小学生の学習能力が上がっているように感じるので、成果が出てきていると思う。
補佐	小学生では個人によって差があるが、その差もだんだん小さくなっている。
委員	課題②では国語77.8%、評価内容では77.4%になっているがどちらが正しいのか。
補佐	77.4%が正しい。
委員	「英語の授業が分かる」について、国語、数学、英語のパーセントが書かれているが、全国平均との比較はあるか。
補佐	今すぐ提示できないが、比較したものはある。
委員	学力と「授業が分かる」の相関関係はあるのか。
補佐	英語については、学力は全国平均より高いが「分かる」は低くなっている。

委員	「地域の行事に参加する」について、小学校でコミュニティースクールを進めているのに、なぜ低くなっているのか。
補佐	コロナで地域行事が減ったからである。
委員	ALT をもっと活用して子どもたちがもっと英語に触れやすくすると良い。
委員	コミュニティースクールについて、学校の規模によって取り組み内容や苦勞する点が異なると思うがどうか。
補佐	現在、瑞浪小中学校以外の学校で進められている。講師数の問題については、まちづくりや区長会で声をかけて協力していただきながら進めていく。
評価	委員会評価 B
施策3	特別支援教育の充実
委員	「学習支援員が研修に参加できる機会をつくる」について、なぜできなかったのか。
補佐	勤務時間が決まっており、その中で行うことができなかった。夏休みに研修として、勤務時間内で受けることが可能となった。
委員	外国籍の子は言葉の壁だけでなくこれまで育ってきた生活習慣の違いもあり、専門性の高い支援員が必要だと思う。
補佐	県費での非常勤講師でそのような方が勤務している学校もあるが、1人では賅いきれないので支援員にも入ってもらい対応している。
委員	支援員になるには何か資格が必要なのか。
補佐	指導ではなく支援なので必ずしも教員免許が必要ではないが、もっている人とない人とでは時給に若干の差がある。
委員	今は何人いるのか。
補佐	33名いる。これに加えて、医療的ケアが必要な子のための看護師を配置している。
委員	各学校からの希望人数が配置できているか。
補佐	希望数はこの数字を上回っている。配置できる人材と予算を鑑みると現状にあと1、2人追加できるかどうかという状況である。特に必要なところに配置しているが、増やしたいという気持ちはある。
委員	支援員の適正人数は何人なのか。
補佐	具体的な数字を示せないが、支援が必要な子が増えてきているので、今より増やせるとありがたい。
委員	まだ支援員の数が足りていないということであれば、一つの大きな課

	題として取り組んでいく必要がある。
評価	委員会評価 A
施策4	豊かな心の育成
委員	いじめのアンケート調査でその日のうちに対応が目標ということだが、どのように対応しているのか。
補佐	回答を見たときに、気になるものがあれば、まずは学校長が把握したうえで、必要であれば聞き取りをその日にしている。
委員	子供達は、学校に言えば対応してもらえんと思っっていることが多いか。
補佐	割合でいうと多い。いじめの発見については、担任からだけではなく、友だちの話や保護者からの情報もあるので、アンケートが全てではない。1番は日々の観察を大切にしている。
委員	学校の先生がすぐに対応してくれるということで、子供達が安心して、お願いしたい。
委員	長期欠席者についてはどのような対応をするのか。
補佐	令和2年から3年の間に、小学校では16人から29人に増加、中学校は21人から31人に増加している。本人だけでなく家庭が不安定な場合など、アプローチの仕方は様々である。学校によっては適応教室をつくって別室登校しながら教室復帰を目指している。子どもによって復帰スピードが異なるので、背景にある家庭環境を踏まえながらケース会議で検討している。
委員	ケースにより対応がまちまちで難しいと思うが、子どもがいつも暖かく見守られていると感じられる対応をして欲しい。
委員	こぶし教室には何人通っているのか。
補佐	今年正式に入級したのは2人である。昨年度から継続で通っている子もいるので、通常通っている子は3人でそのうち1人は学校にほぼ復帰している。教室の場所が、通うのが難しい家庭もある。
委員	ケース会議に参加されるのはどのような方か。
補佐	スクールカウンセラーの訪問日に、学校長、教頭、生徒指導、担任、教育相談コーディネーターとして市の職員、こぶし教室の清水先生、必要に応じて特別支援の方が出席し、色々な視点から会議をしている。
評価	委員会評価 A
施策5	健やかな体づくりと食育の推進
委員	体力テストの結果を見るとかなり低下している。何か手を打つべきだと思うがどうか。

補佐	言われるとおりである。対策をする必要がある。
委員	給食における地元野菜の使用率はどれくらいか。
所長	数パーセントである。
委員	地元野菜というのは、市内なのか東濃なのかどの範囲か。
所長	基本的には、きなあた瑞浪に出荷している農家を対象にしており、一部土岐市の方がいる。
委員	中学校の給食費が320円で何年も変わっていないが、何か支援があるのか。
所長	支援はない。去年までは突発的な休みの時には、給食費はもらっていなかったが、仕入れに対する支払いは発生するので、その部分については今年度からは徴収している。予算はひっ迫しており、コロナ対策での協議を始めたところである。
委員	給食だよりの下にある、給食の写真が見れるというのはどれくらいの頻度で更新しているのか。
所長	毎日11時前に検食が出てきた時に更新している。しかしホームページなので見つけづらく、Instagramでの更新を協議しているところである。
委員	多くの保護者の方に役立つと思うので、より良い方向に進めていってほしい。
所長	ホームページでレシピの問い合わせもあるので、家庭との食育支援の中で、レシピブックの作成を栄養士と相談して進めていく予定である。
委員	瑞浪中学校の体力テストの結果を見せてもらい、低さに驚いた。部活は自由加入になり、それを体育の授業では補えない。部活動はそもそも目的がスポーツを通じた集団活動、仲間づくりなので、体力づくりをやるだけでは反対である。データの低下を示すことで、部活に入る子も増えると思われる。親への啓発も必要だと思う。どこかで方向付けをしないと、子ども達が台無しになってしまう。運動量の確保が必要である。
委員	今の部活はどのような状況か。
補佐	時間数は減ったが、平日は部活、土日は地域の方をお願いをしてクラブ活動をしている。
委員	中体連はどうなっているか。
補佐	今年を行う予定である。
委員	部活の自由加入は決定なのか。
補佐	その方向となっており、元には戻らない。
委員	中体連について、去年参加しなくてもよいとなったので、競技が成立

	しない部活が出てくる。3年間部活をやって1回も対外試合を体験せずに卒業していくようでは部活の意味がない。社会性が身につかない部活はどうかなと思うので、その部活はなしにして他にまわってもらったほうが子供にとってはいいと思う。
委員	部活の自由加入はどのような流れでそうなったのか。
補佐	学校の教育課程の中で、自主性を重んじるという文言があり、強制ではないので、他に習い事をしている子が個人種目の部活に入るのもどうだろうとなった。岐阜県では、東濃は少し前まで100%全員加入だったが、岐阜地区、西濃は2、30%で世の中の流れを感じる。
評価	委員会評価 B
施策6	幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携の強化
委員	学校だよりが昔と比べてきめ細かくなった。学校の先生は大変だと思うが、ここまで配慮してもらえてありがたい。
評価	委員会評価 A
施策7	幼稚園・学校の職員の資質向上
委員	研究発表のオンラインについて、時間や経費を削減できるので賛成である。オンラインにしたことで質が落ちたということもないのでどんどん活用してほしい。
委員	時間外勤務について、年360時間を超える人がいるというのは、学校だよりの作成や突発的なコロナ対応などで致し方ないことによるものなのか。
補佐	コロナの緊急対応や保護者への連絡を夜にやるという特殊な例や、オンライン授業になったことで普段の授業準備より手間が増えたり、職員によっては仕事がいくつも重なっている方もいたりする。オンライン会議にしたことで、行き来の時間が削減できたので、対面が必要でないものについてはオンラインにしていきたいと思う。
委員	そうなると、オーバーしているのは評価できるオーバーということか。
補佐	評価できるオーバーだと考える。時間数も確実に減ってきている。4月の平均が小学校39時間、中学校が39時間を割るぐらいの時間で、今までの中で異例の時間となっている。学校で取り組みをしていただけていると感じる。
委員	やむを得ず負担がかかってしまったオーバーということなのか。
補佐	やむを得ず対応しながら進めている。
委員	職員の健康状態はどうか。

補佐	メンタル、体の不調で休む方はいなかった。今後どうなるか分からないので、管理職の先生には日頃の見届けをお願いしている。
委員	勤務状況の改善で色々な取り組みをしていると思う。その仕事が本当に必要なのか、何が1番負担があるのか考え、簡略化、軽減してもらえればと思う。
委員	コミュニティースクールで、先生方へのアンケートの中で何を助けてほしいか聞いたところ、学校からバス停まで毎日送るというのを地域の方をお願いしたいという意見があった。今年度6月から始める予定である。青色防犯パトロールがあるので、その人たちがまず学校へ行って子ども達を見送ることで、先生方は時間を取ることができる。コミュニティースクールの良さを生かしながら、教職員の負担を減らしていければと思う。
評価	委員会評価 A
施策8	学校環境等整備・充実
委員	ICTの研修はどのように行っているのか。
補佐	色々な研修があるが、今年の夏に予定しているのはグーグルの方を呼んで、初中級編、中上級編の2つを予定している。アプリの効果的な使い方を教えてもらう。
委員	ICT関係の施設整備は何か考えているか。
補佐	タブレットの画面を映すスクリーンを予算化して購入し、見やすい環境をつくる。
委員	トイレについて、全校洋式化したのか。
補佐	稲津小は大規模改修に合わせて今年度実施、瑞浪小、中、南中は今年度設計し、これから実施する。4校以外は実施済みである。
評価	委員会評価 A

【基本目標2】生涯学習推進係長、社会教育係長説明

施策1	多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
委員	公民館が1番困っているのは、コロナで飲食禁止となると夏祭りなどのイベントができないのでお願いしたい。 公民館講座について、町内外の人に来てもらえればと思っている。定員数を超える参加希望があったり、町外の人だけの講座があったりするのので、各公民館の特徴を生かして瑞浪市として取り組んでいければと思う。
係長	コロナ禍の工夫を少し紹介する。屋外の事業を許可する公民館が多か

	<p>った。日吉公民館ではマレットゴルフの交流会、軽トラ市の回数を増やして対策をした。紙コップの自動販売機を廃止して、ペットボトルをショーケースで販売したら売り上げが伸びたということがあった。中央公民館の文化祭では、生演奏をやめて事前に録画したものを会場に流したり、他の公民館では作品づくりの講座を開いたりして充実したものになった。また、来館された方の気持ちを和らげるために、ロビーの装飾や、公民館ギャラリーを実施したところもあった。ホームページの更新やインスタグラムの開設をしたところもあったので、行事が中止になった時間を活用できたと思っている。</p>
委員	貸出数の目標冊数の根拠は何か。
課長	毎年の実績を元に決めている。
委員	本の貸出数が多い市は文化的レベルが高いと聞いたことがあるが、他市との比較は分かるか。
係長	今手元にそのようなデータがない。
委員	障がい者の方や、杖をついている方は図書館の階段がネックになると思うが、その対応は何かあるのか。
課長	文化センターの1階からエレベーターを使用して図書館に来られるので、声をかけてもらえれば案内する。
評価	委員会評価 B
施策2	地域での子育てに係る学習環境の整備
委員	コロナ禍で、2週間後の企画を中止になるのではないかと不安感を抱きながらやるのは辛いと思うので、確実に実施できる計画を立てたほうが良いのではないかと思うがどうか。
係長	中止になるというのは、主催者側も参加者側も辛いので、最近はオンラインと並行して企画して、中止になってもオンラインで参加できるようにしている。講演会が中止になったとしても、オンラインで配信して見られるようにしている。楽しみにしていた人たちの気持ちをそがないように、計画している。
委員	10月11月にできた講座はどのようなものか。
係長	読み聞かせの講座を陶公民館で開いたり、釜戸公民館では家庭教育を計画通りやったり、中央公民館では泥団子づくりを実施した。密にならないように取り組んだ。
評価	委員会評価 B
施策3	高齢者の活躍の場づくり

委員	<p>寿大学の方が1番喜ばれるのは、社会科見学や研修だがコロナが怖いということで実施できなかった。そこで、YouTube 大学を大きなスクリーンに映してみんなで鑑賞した。良い内容の講座を無料で見ることができ好評だった。</p> <p>困っていることとしては、スナッグゴルフで学校からの移動手段が、バスを借りてもタクシーを使っても高くくて利用できない。今は公民館で何とかやっているが、予算化してほしい。</p>
委員	寿大学に入る年齢は市によって異なるのか。
委員	町によって異なる。普通は60歳で、釜戸学園は50歳から入れる。コロナにより年々人数が減っており、困っている。
委員	大学によって人数が違うということは、予算は自分たちで支払っているのか。
委員	<p>自分たちで払っている。</p> <p>ほとんどが女性で男性が少なくて困っている。組織的に、委員長を決める時に該当者がいなくて、女性の方は遠慮してしまう。男性は入ると役員にされると思いますます入らないので、どこも存続の危機である。</p>
評価	委員会評価 B
施策 4	公民館・図書館等による人材発掘と育成
委員	ボランティアの年齢制限はあるのか。
係長	高校生のボランティアがいる。
課長	釜戸公民館の文化祭に北中の生徒がボランティアとして参加してくれたこともあった。
評価	委員会評価 A